

事業計画書

■当初 □最終

作成年月日 2019年06月05日

法人名	ウイズハーモニー株式会社
代表者職名前	代表取締役 渡邊 英之
担当者名	連絡先

1 協議事項

協議の種類	計画の概要	本計画書に記載が必要な項目														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
協議の種類	■ 新規事業所の開設 (事業所の移転) (大幅な事業内容変更) □ 事業の追加	□ 共生型サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		■ 共生型サービス以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 定員の変更	□ 施設整備を伴う	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			■ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		□ 施設整備を伴わない	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			□ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 建物の構造・設備の変更	□ 多機能型サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		□ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		□ 現在地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	□ 賃借	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

2 事業実施に係る動機

3年前の3月に地域貢献をしたいという思いから、福山市新涯町でウイズ福山新涯を開設致しました。保護者様、職員、地域の方のご協力もあり、お陰様で今では多くのご利用希望を頂いております。1年前より開設当初のきっかけでもある「地域貢献」の想いがより強くなり、川口町の近くでもある新涯町でこの3年間で積みあげた経験をいかし、「ウイズ」が地域密着した事業所でありたいと考え開設する運びとなりました。

3 提供サービス

種別	① 放課後等デイサービス	割合	100%	提供日	月 火 水 木 金 土 日
	②	割合			
	③	割合			
理念	障がいを持った子供たちとご家族に安心して過ごせる環境を提供しサポートする。				
目標	現在は小学生、中学生の利用希望者で占めていますが、高校生になっても利用できる様な将来を見据えた療育を提供していきたいと考えています。				
同種のサービス	同一法人でウイズ福山新涯を事業している。				

4 施設の概要【平面図は裏面のとおりに】

土地	所在地	広島県福山市川口町1-9-3		用途区域	第一種住居地域	意見
	所有者	ウイズ福山川口		抵当権	□ あり	
建物	名称	放課後等デイサービス ウイズ福山川口		用途	放課後等デイサービス・事務所	○本計画は、事務所から児童福祉施設等への用途変更を行うもの。床面積が200㎡以下であるため建築基準法上の手続きは不要であるが、建築士等に相談のうえ、基準に適合する計画にしてください。 ○必要となる消防設備(消火器及び誘導灯)を設置するとともに、カーテン等を使用する場合は、防災物品を使用してください。 ○施設の使用開始に際しては、防火対象物使用開始届書を提出してください。
	所有者	ウイズ福山川口		構造	軽量鉄骨造	
	用途	放課後等デイサービス・事務所		建築年	1985年3月	
	階層	1	地上	1階	地下	
事業の概要	①	種別	放課後等デイサービス			87.07㎡
		手続	新規	使用する階	1階	
	②	種別				㎡
		手続		使用する階		
	③	種別				㎡
		手続		使用する階		
内容	申請種別	□ 新築 □ 増築 □ 用途変更 □ その他				
	概要	広島県福山市川口町1-9-3の賃貸の建物を放課後等デイサービス事業所として使用する。				

5 主要取引先

上段:取引先 下段:所在地	割合	掛取引	回収・支払の条件	意見
なし	%	%	日 〆 日回収	
なし	%	%	日 〆 日回収	
なし	%	%	日 〆 日回収	

6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給	意見
管理者	■ 常	A(8月下旬採用予定)		25万円	○裏面の「12 事業計画」の欄を参照してください。
児童発達支援管理責任者	■ 常	B(8月下旬採用予定)		同上万円	
児童指導員	■ 常 □ 非	C(8月下旬採用予定)		19万円	
児童指導員	■ 常 □ 非	D(8月下旬採用予定)		19万円	
保育士	■ 常 □ 非	E(8月下旬採用予定)		19万円	
	□ 常 □ 非			万円	
人件費	末日	15日支払	ボーナス	5月	月

様式第2号-1

受理	6月28日
関係者への意見聴取	■ 市 建築指導課
	■ 消防局予防課
	■ 中小企業診断協会
	■ 関係団体
	□
回答	7月18日

7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	意見
日本政策金融公庫	運転資金、設備資金の確保	728万円	180万円	○償還計画及び返済に係る主な財源を示してください。
広島銀行	運転資金、設備資金の確保	728万円	180万円	

8 必要な資金と調達方法

設備資金	必要な資金	金額	調達方法	金額	意見
		万円		万円	
設備資金	土地		補助金		
	建物	0120	自己資金	0500	
	設備	0300	借入金	1000	
	車両	0000			
	その他	0080			
運転資金		1000			
合計		1500	合計	1500	

9 事業の見通し

	1月目	2月目	3月目	1年後	意見
	人	人	人	人	
利用者見込 A	0026	0052	0078	0234	
月平均利用額 ※1 (1人当たり)	0.74万円	0.74万円	0.74万円	0.9万円	
収入					
給付費 (9割) ※2	0000	0000	0017	0189	
給付費 (1割)	0000	0002	0004	0021	
収入計 ①	0000	0002	0021	0210	
支出					
人件費	0082	0082	0082	0097	
旅費・交通費	0004	0004	0004	0005	
賃借料	0016	0016	0016	0016	
通信費	0002	0002	0002	0002	
諸経費 ※4	0049	0049	0049	0057	
支払元金利息	0014	0014	0014	0014	
支出計 ②	0167	0167	0167	0191	
収支 ①-②	▲167	▲165	▲146	0019	
収入 B	-	-	-	-	
売上高 ※3	-	-	-	-	
支出 C	-	-	-	-	
利用者賞金	-	-	-	-	
必要経費	-	-	-	-	
最賃確保状況 (A型)	円	円	円	円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること

1延べ利用者数130名未満:平日(区分2-1)609単位、休日(区分2)726単位+送迎加算(往復)108単位
2延べ利用者数130名以上:平日(区分2-1)609単位、休日(区分2)726単位+送迎加算(往復)108単位+加配加算(児童指導員等)155単位

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先

上段:受注先 下段:所在地	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
	万円	□ あり □ なし	

※3 主な事業所内生産品

生産品	1時間単価	計算式	1月当たりの生産額
	円 ×	H ×	日 × 人 = 万円
	円 ×	H ×	日 × 人 = 万円

※4 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

事業計画書

□当初 ■最終

作成年月日 2019年09月25日
法人名 ウィズハーモニー株式会社
代表者職名前 代表取締役 渡邊 英之
担当者名 連絡先

様式第2号-2

1 協議事項

協議の種類
計画の概要
■新規事業所の開設 (事業所の移転) (大幅な事業内容変更)
□共生型サービス
□共生型サービス以外
□多機能型サービス
□定員の変更
□施設の構造・設備の変更

6 従業員

職種 雇用形態 名前 年齢 月給 主な修正点
管理者兼児童指導員 ■常
児童発達支援管理責任者 ■常
保育士 ■常 □非
児童指導員 □常 ■非

受付印
9月25日受付 (受付印 省略)

2 事業実施に係る動機

3年前の3月に地域貢献をしたいという思いから、福山市新涯町でウィズ福山新涯を開設致しました。保護者様、職員、地域の方のご協力もあり、お陰様で今では多くのご利用希望を頂いております。1年前より開設当初のきっかけでもある「地域貢献」の想いがより強くなり、川口町の近くでもある新涯町でこの3年間で積みあげた経験をいかし、「ウィズ」が地域密着した事業所でありたいと考え開設する運びとなりました。

3 提供サービス

種別 ①放課後等デイサービス 割合 100% 提供日
理念 障がいを持った子供たちとご家族に安心して過ごせる環境を提供しサポートする。
目標 現在は小学生、中学生の利用希望者が占めていますが、高校生になっても利用できる様な将来を見据えた療育を提供していきたいと考えています。
同種のサービス 同一法人でウィズ福山新涯を事業している。

4 施設の概要【平面図は裏面のとおり】

土地 所在地 広島県福山市川口町1-9-3 用途区域 第一種住居地域
建物 名称 放課後等デイサービス ウィズ福山川口
事業の概要 ①種別 放課後等デイサービス
②種別
③種別
内容 申請種別 □新築 □増築 □用途変更 □その他
広島県福山市川口町1-9-3の賃貸の建物を放課後等デイサービス事業所として使用する。

5 主要取引先

上段:取引先 下段:所在地 割合 掛取引 回収・支払の条件 主な修正点

7 借入金の状況

金融機関 理由 借入残高 年間返済額 主な修正点
日本政策金融公庫 運転資金、設備資金の確保 728万円 180万円
広島銀行 運転資金、設備資金の確保 728万円 180万円

8 必要な資金と調達方法

必要な資金 金額 調達方法 金額 主な修正点
土地 万円 補助金 万円
建物 0120万円 自己資金 0500万円
設備 0300万円 借入金 1000万円
車両 0000万円
その他 0080万円
運転資金 1000万円
合計 1500万円 合計 1500万円

9 事業の見通し

利用者見込 A 1月目 2月目 3月目 1年後 主な修正点
月平均利用額 ※1 (1人当たり) 0.74万円 0.74万円 0.74万円 0.9万円
収入 給付費(9割)※2 0000万円 0000万円 0017万円 0189万円
給付費(1割) 0000万円 0002万円 0004万円 0021万円
収入計① 0000万円 0002万円 0021万円 0210万円
支出 人件費 0073万円 0073万円 0073万円 0092万円
旅費・交通費 0004万円 0004万円 0004万円 0005万円
賃借料 0016万円 0016万円 0016万円 0016万円
通信費 0002万円 0002万円 0002万円 0002万円
諸経費 ※4 0049万円 0049万円 0049万円 0057万円
支払元金利息 0014万円 0014万円 0014万円 0014万円
支出計② 0158万円 0158万円 0158万円 0186万円
収支 ①-② ▲158万円 ▲156万円 ▲137万円 0024万円
収入 B 売上高 ※3
支出 C 利用者賃金 必要経費
最賃確保状況(A型) ((B-C)/25)/8/A

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること
1延べ利用者数130名未満:平日(区分2-1)609単位、休日(区分2)726単位+送迎加算(往復)108単位
2延べ利用者数130名以上:平日(区分2-1)609単位、休日(区分2)726単位+送迎加算(往復)108単位+加配加算(児童指導員等)155単位

※2 給付費は、サービス提供月の翌月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先

上段:受注先 下段:所在地 1月当たりの受注額 契約書の有無 回収・支払いの条件

※3 主な事業所内生産品

生産品 1時間単価 計算式 1月当たりの生産額

※4 諸経費:消耗品、光熱水費、車両管理費、研修費、宣伝広告費、租税公課、社会保険料、レンタル料等

10 付近図

小学校区 川口小学校区	人口 5,819 人	事業所数 0	事業所 0 人
	事業所数 0	事業所 0 人	

凡例
 ○ … 事業所
 × … 同種の事業所
 △ … 一次避難先
 □ … 二次避難先

主な修正点
 ○既存事業所での利用希望の増加に応えるためであれば定員増加でも対応できると思われる。新規事業所を開設することとした理由を説明してください。
 →別紙参照

11 平面図

※平面図のデータを貼付

主な修正点

12 事業計画

利用定員 10名 営業時間 平日10:00~19:00 土曜日・長期休暇日9:00~18:00 サービス提供時間:授業終了後14:00~18:00 学校休業日10:00~16:00	主な修正点 ○スタッフの資質や経歴によって事業所の理念や方向性が明確になると考えるが、現時点で従業員が確定していない。現状ではどのような理念を持って開所・運営していく予定なのか示してください。 →別紙参照
--	--

1.生活能力向上のために必要な訓練や社会との交流の促進を図り、学校や家庭とは異なる時間、空間、人体験等を通じて、個々の子どもの状況に応じた発達支援を行うことにより、児童一人ひとりが将来、いきいきと過ごせるように自立支援を行う。

2.保護者が障がいのある子どもを育てることを社会的に支援。具体的には、
 ①子育ての悩み等に対する相談を行う
 ②家庭内でのペアレント・トレーニング等活用しながら子どもの育ちを支える力をつけられるよう支援
 ③保護者の時間を保障するために、ケアを一時的に代行する支援を行うこと

13 利用者処遇

1.心身の変化の大きい時期であるため、子どもの発達過程や特性、適応行動の状況を理解した上で、コミュニケーション面等での課題も理解し、一人ひとりの状態に即した放課後等デイサービス計画を作成し、計画書に沿った支援を行う。 2.施設の利用を通して、学習面、生活面、身体面、社会面でのスキルを身につけられるよう支援を行う。 また、施設での子どもとの関わりを通して、保護者との信頼関係を構築し、保護者が子どもの発達に関して相談できる環境になるように努めます。保護者の他にも学校や教育支援センター等の関係機関や団体との連携を図りながら子どもの気持ちに寄り添った支援をして参ります。 3.中高生の利用を対象とした、将来の就職や進学に向けた支援(PC作業など)を行える様に目指して参ります。	主な修正点 ○これまで既存の「ウィズ福山新涯」を運営してきた実績を踏まえ、新規事業所では、どのような療育を展開していくこととしているのか具体的に示してください。 →別紙参照
--	--

14 防災計画

<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震防災対策のマニュアルを作成【・消防・地震・津波】 ・命令、指揮系統 地震防災隊長、地震防災副隊長、情報収集連絡班、避難誘導班 ・緊急連絡網を作成 ・緊急機関との連絡体制作成 ・緊急持ち出し品の準備 備蓄品(食料、飲料水)の準備 ・避難先への経路作成 ・建物内からの避難経路作成 ・避難方法の作成 ・防災訓練の実施(年2回) 避難訓練の内容 ○防災マップ及び施設内の避難経路の通りに迅速に避難できるか検討を行う。 ○災害時における役割分担の通りに迅速な対応ができるかどうかの検討を行う。 ○消火器を使用した初期消火の訓練を実施する。	主な修正点
--	-------

15 一日の流れ

10時00分 ~ 12時00分	出勤、事務所、支援準備、ミーティング	主な修正点
12時00分 ~ 13時00分	休憩	
13時00分 ~ 14時00分	支援準備、送迎	
14時00分 ~ 18時00分	サービス提供	
18時00分 ~ 18時30分	送迎	
18時30分 ~ 19時00分	事務業務、支援準備、ミーティング	
〇時〇分 ~ 〇時〇分		